

8/8

犠牲者を追悼
平和を誓う

筑紫区「筑紫平和シンボル」行事

75年前の昭和20年8月8日、西鉄筑紫駅付近で列車が米軍機により銃撃を受け、多くの方が犠牲となった、西鉄筑紫駅銃撃事件。毎年筑紫区により行事が行われています。

今年は感染防止のため規模を縮小し、少人数での開催となりました。参加者は「筑紫平和シンボル」である銃弾痕の残る当時の駅待合所に手を合わせ、犠牲となった方々を追悼し、平和を祈りました。



旧西鉄筑紫駅待合所に手を合わせる参加者

8/22

災害から学び、
災害に強いまちづくりを

8.22豪雨災害対策祈念集会

平成26年8月22日、1時間に98.5ミリを超える豪雨により高尾川・鷺田川が氾濫。多くの被害が発生しました。市では毎年この日に集会を行っています。

集会では、高尾川地下河川築造工事を行う県那珂県土整備事務所から、6月に地下河川の運用を暫定的に開始したこと、梅雨には高尾川から地下河川に20回以上の流入があり、氾濫防止に大きな効果があったことなどの説明がありました。



工事の進捗状況を確認する地域の皆さん

7/30

感染拡大防止のために使用を

太宰府ロータリークラブ 体温計を寄贈

社会奉仕などの活動を行う太宰府ロータリークラブから、非接触型体温計10台の寄贈がありました。

寄贈された体温計は、人が集まる検診会場や、面談などが必要な事業、公立保育所・幼稚園などで役立てます。

同クラブの皆さんからは「新しい生活様式の対応として、感染拡大防止に役立ててもらえたら」と話がありました。



太宰府ロータリークラブの前田副会長(右)

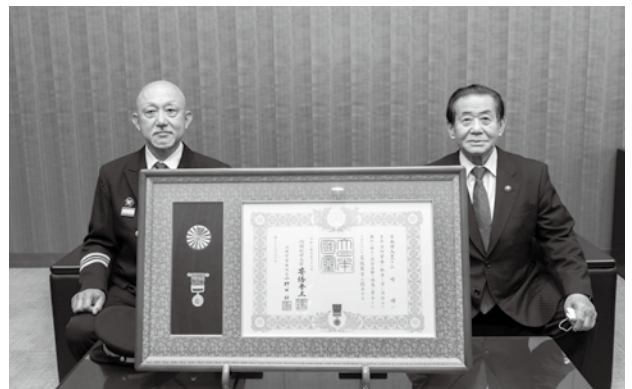
8/7

消防の功績がたたえられる

消防団の山崎団長が藍綬褒章を受章

4月に発令された「令和2年春の褒章」で、筑紫野市消防団の団長を務める山崎 博さんが藍綬褒章を受章。この日、藤田市長に報告しました。

訓練などを通して消防力の強化に努めたことや、火災発生時に団を指揮して被害を最小限にとどめたことなどがたたえられての受章に、山崎団長は「皆さんの温かい支援の賜物。今後も一層精進し、地域の安心・安全のため頑張ります」と話していました。



約30年にわたって消防団活動続ける山崎団長(左)